東京ディズニーランド（ＴＤＲ）やディズニーシー（ＴＤＳ）から、４Ｐと４Ｃを考えてみよう。

～４Ｐ～

|  |  |
| --- | --- |
| Product（製品） |  |
| Price（値段） | ＴＤＲ、ＴＤＳ（2024）のパークチケット価格　※2023年10月1日から６段階の【　　　　　　　　　　　　】（ダイナミック・プライシング）へ　　最も高い価格：10,900円　最も安い価格：7,900円ディズニーリゾートの収入の内訳は？（2023）　チケット代（アトラクション・ショー収入）（　　　　）％　物販（　　　　　）％　飲食（　　　　）％　一人あたりの収入金額（　　　　）円＝チケット収入（　　　　）円＋物販（　　　　）円＋飲食（　　　　）円 |
| Promotion（販売促進） |  |
| Place（チャネル） |  |

～４Ｃ～

|  |  |
| --- | --- |
| Customer　Value（価値） |  |
| Customer　Cost（負担） |  |
| Convenience（利便性） |  |
| Communication（コミュニケーション） |  |

問題解決ミッション

　１　ディズニーランドやディズニーシーでは、入園料とアトラクション料金をセットにした前払いシステムをとっています。

　　　それはなぜでしょうか？

|  |
| --- |
|  |

２　施設は、外周をバームと呼ばれる土盛りと植栽によって囲んでいます。施設の樹木の数は約30万本で、ディズニーランドの24％にあたる20ヘクタールが植栽緑地面積です。このような環境にしているのはなぜでしょうか。

|  |
| --- |
|  |

３　ディズニーランドは、広大な敷地面積にも関わらず、入口は１つしかありません。なぜ入口を複数にしないのでしょうか。

|  |
| --- |
|  |

４　大阪には、大型テーマパークのＵＳＪがあります。ディズニーランドとＵＳＪのコンセプトの違いはなんでしょうか。

|  |
| --- |
|  |

これより教師用参考資料

東京ディズニーランドやディズニーシーから、４Ｐと４Ｃを考えてみよう。

～４Ｐ～

|  |  |
| --- | --- |
| Product（製品） | チケット（アトラクション・ショー）、キャラクターグッズ、園内のサービス、施設内の飲食店のメニュー |
| Price（値段） | ＴＤＲ、ＴＤＳ（2024）のパークチケット　※2023年10月1日から６段階の【変動価格制】（ダイナミック・プライシング）へ　　最も高い価格：10,900円　最も安い価格：7,900円ディズニーリゾートの収益の内訳は？（2023）　チケット代（アトラクション・ショー収入）（　49.4　）％　物販（　31.0　）％　飲食（　19.6　）％※チケット収入8,229円＋物販5,157円＋飲食3,258円＝合計16,644円／人 |
| Promotion（販売促進） | ＣＭやホームページ、配信 |
| Place（チャネル） | 施設に行かなければ体験できない。アクセスの良い東京に近い千葉県浦安市に位置する |

～４Ｃ～

|  |  |
| --- | --- |
| Customer　Value（価値） | 夢の国という非日常空間で欲求を満たせる　施設に行かないとキャラクターに会えないファンがリピートする　子どもだけでなく大人も楽しめる |
| Customer　Cost（負担） | チケット代金の高騰　交通費　宿泊費　飲食代　グッズの購入費客数が増加する時期は、値段が高騰する |
| Convenience（利便性） | ディズニーランドとディズニーシーは、隣の位置関係東京から近いため、アクセスが良い　ディズニーリゾートとして宿泊施設　飲食店も豊富にある |
| Communication（コミュニケーション） | 従業員はキャストとして、お客様であるゲストに楽しんでもらえるよう、また来てもらえるよう一流のおもてなしをする |

問題解決ミッション

　１　ディズニーランドやディズニーシーでは、入園料とアトラクション料金をセットにした前払いシステムをとっています。

　　　それはなぜでしょうか？

|  |
| --- |
| 金銭感覚は、現実的で日常的なものです。非日常空間を演出するためにはおカネを意識させない工夫の一つです。また、お弁当類の持ち込みを禁止しているのは、夢の世界で、家族がお弁当を囲む日本的な風景を見せられると、日常的な世界に引き戻されるため、禁止にしています。 |

２　施設は、外周をバームと呼ばれる土盛りと植栽によって囲んでいます。施設の樹木の数は約30万本で、ディズニーランドの24％にあたる20ヘクタールが植栽緑地面積です。このような環境にしているのはなぜでしょうか。

|  |
| --- |
| 外界をシャットアウトするためです。また、東京湾の潮風が吹きこむのを防ぎ、心地よい環境を提供する役割もあります。園内から周辺の建物、工場やアパートなどを見ると、日常の風景を見せられて現実に戻されてしまいます。 |

３　ディズニーランドは、広大な敷地面積にも関わらず、入口は１つしかありません。なぜ入口を複数にしないのでしょうか。

|  |
| --- |
| 入口を複数にすると、効率的に入園できますが、ゲストの印象が散漫になります。ウォルトの言い分は、映画を途中から見たのではストーリーが分からないとあります。入口が一つであると、順番に園内を散策できます。たとえば、入園するとまず「ワールドバザール」を通過し、お土産品やレストランなどが並び、英語で看板が書かれています。ここを抜けると、中央公園の「プラザ」に出ます。真ん中の丸い花壇になる「ハブ」を抜け、「アドべンチャーランド、ウエスタンランド、ファンタジーランド、トゥモローランド、トゥーンタウン、クリッターカントリー」の６つのテーマランドに向けて、通路が用意されています。また、プラザの中心にあるシンデレラ城にひきつけられて、中央広場に向かい、自然に、四方に向かうよう設計されています。エンターテイメントを点ではなく、線でとらえる工夫・演出がされているのです。　 |

４　大阪には、大型テーマパークのＵＳＪがあります。ディズニーランドとＵＳＪのコンセプトの違いはなんでしょうか。

|  |
| --- |
| ディズニーランドは、ファンタジーの世界観に対し、ＵＳＪは映画・アニメ・ゲームの世界観で、世界最高のエンターテイメントを集めたセレクトショップです　 |